



キラッと 江上っ子

えがおいっぱい がまんづよい みんななかよし 江上っ子

佐世保市立江上小学校

学校通信 13号

R06.3.01 (金)

文責 校長 堤 祐子



いよいよ、3月です。とうとうと言った方がよいでしょうか。1年が経つのは本当に早いです。気づけば子供たちは一回り体が大きくなり、受け答えもしっかりして頼もしくなり、学級でも生き生きと学んでいます。本当に成長したなあと嬉しく思います。

各学年最後の授業参観には本当に多くの方々にご来校いただきました。お子様の成長に目を潤ませられる方もいらっしやって、改めてお子様への深い愛情を感じ、日々学校へのご協力に心より感謝をいたしました。

18日には卒業式、22日は修了式です。残り14日(卒業生は12日)、自分で自分の成長を実感させ、新しい学年への希望をもたせ、しっかりやり遂げさせたいと思います。



- 2(土) 市スポーツ表彰式
- 3(日) 育友会清掃活動
- 4(月) ~8(金)
テスト週間午前5校時
- 4(月) 6年卒業お祝読み語り
- 11(月) 読み語り
- 12(火) 卒業式総練習
- 14(木) 中学校卒業式
- 15(金) 卒業式会場設営
(1~3, 6年4校時授業)
- 18(月) 第77回卒業証書授与式
- 20(水) 春分の日
- 21(木) 大掃除
- 22(金) 修了式・離任式
- 23(土)~ 4/7(日)春休み
- ※4/8(月) R6 始業式・着任式

「学校評価」ご協力ありがとうございました

12月にご協力いただいた学校評価ですが、保護者・児童・地域・教職員の評価がまとまりました。全体では4点満点中3.5、昨年より0.1ポイントの改善です。詳しくは近日中に結果をお知らせいたします。また同時にHPにも公開いたしますのでご覧ください。建設的なご意見をありがとうございました。今後とも皆様と子供たちのために気持ちを一つにして頑張っていきたいと思います。

「標準学力検査」の結果より

12月に実施した「標準学力検査」の結果が届きました。すでに各ご家庭にお子様を通じてお届けしていることと思います。結果は、学年により様々でしたが、先生から与えられた宿題のみを頑張るのではなく「自分で自分の学習を決める」江上スタイルの家庭学習の効果が反映された結果となりました。自分の将来のために自ら学び続けることの大切さを、これからも根気強く指導・支援していきたいと思います。



ご家庭の皆様、毎日の「家庭学習チェックカード」へのご協力、本当にありがとうございました。チェックをこまめにしていたいただいているお子様の学力が伸びているということが

結果にも表れていました。皆様のおかげです。これからも引き続きよろしく願いいたします。

「大人に相談することは、友達を助けること」

育ち盛りの子供たちは日々成長しています。その成長の陰には必ずと言ってよいほど失敗もあります。「やらかして」しまうことだって少なくありません。しかし、取り返しがつかなくなる前に何とか見つけてあげられると、その子供たちは救われます。

先日の全校集会で、生活指導主任と教頭が「友達のことではこれはまずいなと思ったら、必ず近くの大人に相談してほしい。」「それはチクリではなく、大事になる前に友達を助けること」と伝えました。子供のSOSをしっかりキャッチし、愛情込めて厳しく指導し、子供の失敗を正してあげること、私たち大人の大きな責任だと思っています。

心を繋いだ「6年生を送る会」！

22日、児童会主催で「6年生を送る会」が開催されました。1年間お世話をしてくれた6年生に、この日は在校生が精一杯おもてなしをしました。みんなでゲームをしたり（新しいゲームに挑戦！）、各学年から出し物をしたり、縦割り班からメッセージカードをプレゼントしたり。出し物は、歌やダンス、劇に映画まで！それぞれに工夫されていて、観ていて圧倒されました。最後にみんなで歌った歌は心がこもっていて、一つになった気がしました。子供たちの大きな成長を感じた心に残るイベントでした。



2年 ダンス ありがとうレンジャー



1年 歌「ね」とよびかけ



4年 劇「ありがとうのたまご」



3年 歌とダンス「虹」



5年 映画「EGAMIC WORLD」



6年 歌「やってみよう」

夢をかなえよう！「キャリア教育講演会」（6年）



6日、6年生のためにヒューマングループ社長内海和憲氏が講演してくださいました。内海さんは、若いころ1冊の本に出会い「世界一周したい」という夢を持ったそうです。その夢をかなえるために、時間と労力をかけて準備し、お金をためて見事夢をかなえたとのこと。また、人との出会いで新たな夢や目標を持ち、実践していったことなど、子供たちが夢や目標に出会ったときにどうチャレンジしていけばよいかのヒントをたくさんくださいました。子供たちはまだ見ぬ自分の未来に目を輝かせ、真剣に話を聞いていました。

本物に触れる感動「トラック協会出前授業」（5年）



8日、本校の保護者で県トラック協会青年部会長古川智憲様のお計らいで、子供たちが本物のトラックに触れて学ぶ機会がありました。社会科の流通の学習です。輸送の手段としてのトラックの役割を詳しく学んだだけでなく、本物のトラックを数台乗り入れていただき、実際に動かして下さったり、乗せて下さったりして、体験活動ができ、大喜びの子供たちでした。

今年度は、保護者の方々が「子どもたちの学びのために」と声を上げてくださる機会が多く、心から感謝しています。これからも「こんな学習できますよ」ということがあれば、ぜひ声をおかけください。